

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成29年5月12日

【会社名】 株式会社アプリックス

【英訳名】 Aplix Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役 兼 取締役社長 長橋 賢吾

【本店の所在の場所】 東京都新宿区西早稲田二丁目20番9号

【電話番号】 (050)3786-1715

【事務連絡者氏名】 経営管理部部長 倉林 聡子

【最寄りの連絡場所】 東京都新宿区西早稲田二丁目20番9号

【電話番号】 (050)3786-1715

【事務連絡者氏名】 経営管理部部長 倉林 聡子

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社及び当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

1．当該事象の発生年月日

平成29年5月11日

2．当該事象の内容

(1) 事業再編損

平成29年3月31日付で当社の完全子会社であるアプリックス出版ホールディングス株式会社（以下「出版ホールディングス」）が保有する出版事業に属する子会社3社の株式について譲渡（以下「本株式譲渡」）を実施し、その結果、本株式譲渡により発生した関係会社株式売却損350百万円（連結）、及び本株式譲渡に実施にあたりアドバイザー業務を委託した業者に対し支払った業務委託料やその他弁護士費用等の合算額等について、連結及び個別の特別損失に計上いたしました。

(2) 関係会社株式評価損

本株式譲渡に関係して、当社が保有する出版ホールディングス株式の実質価額が著しく低下したため、「金融商品に関する会計基準」に基づき関係会社株式評価損として個別の特別損失に計上いたしました。

なお、本関係会社株式評価損については連結決算において消去されるため、当社グループ連結損益への影響はありません。

3．当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

(連結)

平成29年12月期第1四半期の連結損益計算書において、事業再編損463百万円を特別損失に計上いたしました。

(個別)

平成29年12月期第1四半期の損益計算書において、関係会社株式評価損551百万円及び事業再編損112百万円を特別損失に計上いたしました。